

平成 29 年 11 月 7 日

各 位

会社名 株式会社西武ホールディングス  
代表者 取締役社長 後藤 高志  
(コード番号： 9024 東証一部)  
問合せ先 取締役広報部長 西山 隆一郎  
(TEL. 04-2926-2645)

ベンチャー企業と共に新規ビジネスの創出を目指します  
～オープンイノベーションプログラム「Biz Lab Accelerator 2017」に参加～

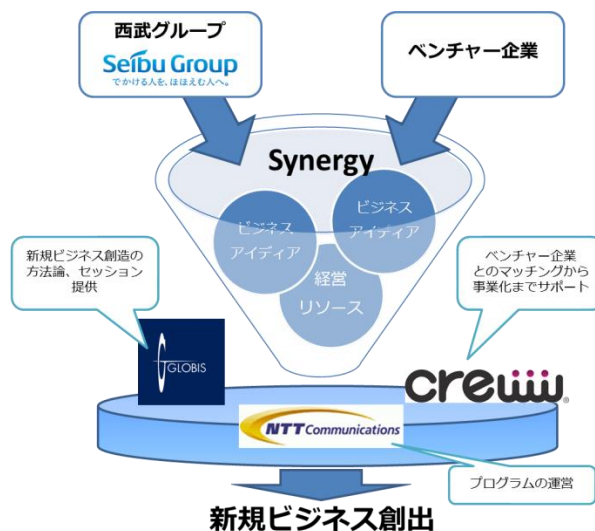
当社では、NTT コミュニケーションズ株式会社、株式会社グロービス、及び Crew 株式会社(以下、「運営支援会社」といいます。)が開催する[オープンイノベーションプログラム「Biz Lab Accelerator 2017」](#)に参加し、ベンチャー企業と共に新規ビジネスの創出を目指します。なお、本プログラムへのベンチャー企業による提案エントリーを11月8日(水)より開始いたします。

当社は、本プログラムにおいて、鉄道等の交通インフラ、ホテルやレジャー施設、商業や賃貸オフィス、ハワイのリゾート施設、プロ野球球団など西武グループの多様なアセットやリソースと、ベンチャー企業のアイデア・サービス・技術を掛け合わせた、オープンイノベーションによる新規ビジネス創出に挑戦いたします。

対象は、IoT、VR、AI、ロボット、ドローンなどの先端テクノロジーから、インバウンドプロモーションやツーリズム等の観光ビジネス関連など幅広い領域の事業・分野とし、国内外を問わず、すべてのベンチャー企業がエントリー可能です。

また本プログラムの大きな特徴として、株式会社グロービスをはじめとした運営支援会社が持つ新規ビジネス創出の方法論・研修プログラムのノウハウを組み合わせ、ビジネス事業化までのプロセスを継続的に支援いただけることがあげられます。本件により創出した新規ビジネスにより、お客さまの生活を豊かにし、さらなる新しい感動・価値を提供してまいります。

現在、当社では西武グループが将来に渡って、持続的かつ力強い成長を果たしていくために、新たに長期的に目標とする水準＝「Challenge Target」を定め、その実現に向けて、既存事業領域を強化するとともに新たな事業分野の創出をおこなっております。本年4月に、自由な発想で新規事業分野を創出するための専門部署として「西武ラボ」を新設いたしました。本取組みにつきましては、同部署が推進しているものです。



## 「Biz Lab Accelerator 2017」について

### 1. 当社が当プログラムで目指すこと

鉄道やホテル、プロ野球球団など西武グループの多様なリソースと、ベンチャー企業の方々のアイデア・サービス・技術を掛け合わせて、新たな視点でイノベーションに挑戦することにより、「日常の暮らしを豊かにする」「非日常を彩るおもてなし」「よりアクティブに楽しめる」といった価値と、国内外の方々に新しい感動を提供できる新規ビジネスの創造を目指しております。

### 2. スケジュール(予定)

エントリー	2017年11月8日(水)～11月22日(水)
コンセプトブラッシュアップ	2017年12月11日(月)～2018年1月25日(木)
一次プレゼンテーション	2018年2月1日(木)
事業計画策定	2018年2月12日(月)～2018年3月22日(木)
最終プレゼンテーション	2018年3月23日(金)

### 3. エントリーサイト

<https://crewv.me/ja/collaboration/bizlab-2017-11>

※エントリーは2017年11月8日(水)10:00より開始いたします。

### 4. 西武グループが提供可能なリソース

- (1) 公共交通(電車・バス・タクシーなど)と駅周辺の沿線施設
- (2) ホテル・ゴルフ場・スキー場・温泉などの非日常を彩る施設
- (3) 埼玉西武ライオンズの他、全国各地の豊富なアセットやレジャー・スポーツ施設などの西武グループならではのバラエティ豊かなリソース
- (4) グループ会社77社・約23,000人の従業員と多岐にわたる事業・サービスを通じた顧客接点

### 5. その他の参加企業

株式会社 QUICK、NTT コミュニケーションズ株式会社

※NTT コミュニケーションズ株式会社は運営支援会社としての他、リソース提供会社としても参加しております。

### 6. その他

#### (1) 「Biz Lab Accelerator 2017」とは

NTT コミュニケーションズ株式会社が主催する「2020 ビジネス創造研究会」会員企業向けの、ベンチャー企業とのコラボレーションなど、オープンイノベーションによる新規ビジネス創造を目的としたプログラム。

※本プログラムではベンチャー企業の他、「2020 ビジネス創造研究会」会員企業と連携したビジネス創造の可能性もあります。

#### (2) 運営支援会社

①NTT コミュニケーションズ株式会社について(<http://www.ntt.com>)

②株式会社グロービスについて(<http://www.globis.co.jp>)

③Crewv 株式会社について(<https://company.crewv.me>)

以上